

平成 30 年度 地域医療実習報告書



久住高原：竹田市

平成 31 年 3 月
大分大学医学部地域医療学センター

ご挨拶

少子高齢化や医療費の高騰などを背景に、医療を取り巻く環境はますます厳しくなっております。病床の機能分化改革、地域医療ビジョンの制定、病院機能評価、地域包括ケアシステムの構築、在宅診療の促進、専門医制度改革など、様々な改革が始まっており、そのような時代や社会の変革の中で、「実践能力を有した医師」を育成することが、医学部教育に課せられています。さらに、「地域医療包括ケアシステムの一員」としての協調性やリーダーシップの資質が求められる一方、病んでいる患者さんに「共感する心」や「癒しのスキル」などのプロフェッショナルを兼ね備えた医師が求められています。このように社会が多様化するにつれ、社会から求められる医師像も多彩になってきました。

一方、医学部の教職員である我々は、大分大学医学部の学生諸君が楽しく医学を学びながら、医師としてのミッションを自覚し、自らの職業にやりがいと誇りを感じることでできる教育を提供したいと考えています。このような目的を達成するためには、医学部学生の臨床教育の「場」として大学病院のみならず、地域中核病院・地域の診療所での実習が理想的であると主張してきました。その結果、9年前から「滞在型の地域医療実習」を導入することができました。この9年の間、教育施設としてご賛同いただきました皆様の多大なご協力とご指導のおかげで、理想的な「地域医療実習」を構築することができていると考えています。「地域医療実習」に対する学生の関心度と満足度は極めて高く、学習効果も素晴らしいものに成長していると感じております。これも、日常診療のご多忙の中、教育活動にご尽力いただきました教育施設の皆様のおかげだと心から感謝申し上げます。

最新の医学教育モデル・コア・カリキュラムや新専門医制度の指針におきましても、益々、「地域医療での教育活動」の重要性が明記されています。今後とも、皆様とともに、実践能力を十分に有した良医を育て、大分県内の安心・安全な医療を推進したいと思っております。

これまでの皆様のご尽力に重ねてお礼申し上げますとともに、今後とも、かわらぬご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

平成 31 年 3 月 吉日

大分大学医学部地域医療学センター
センター長 守山 正胤
内科分野教授 宮崎 英士
外科分野教授 白石 恵男

目 次

1. ご挨拶	
2. 平成30年度地域医療実習における臨床教授等一覧	
3. 実習の手引き	1
4. オリエンテーション	25
5. ワークショップ・集合写真	29
6. 地域医療実習フィードバック	49

平成30年度
地域医療実習における
臨床教授等一覧



30年度 地域医療実習における臨床教授等一覧

病 院 (施設) 名・現 職・氏 名		(敬称略)
豊後大野市民病院	院長	臨床教授 木 下 忠 彦
豊後大野市民病院	副院長	臨床教授 森 井 雄 治
豊後大野市民病院	副院長	臨床教授 拜 郷 敬 彦
豊後大野市民病院	循環器内科部長	臨床教授 永 井 淳 子
豊後大野市民病院	総合診療内科部長	臨床教授 工 藤 政 信
津久見中央病院	院長	臨床教授 石 川 浩 一
津久見中央病院	担当理事	臨床教授 竹 下 泰
津久見中央病院	外科部長	臨床教授 藤 井 及 三
JCHO南海医療センター	名誉院長	臨床教授 亀 川 隆 久
JCHO南海医療センター	院長	臨床教授 森 本 章 生
JCHO南海医療センター	統括診療部長	臨床教授 佐々木 淳
JCHO南海医療センター	外科診療部長	臨床教授 武 内 裕
杉谷診療所	院長	臨床教授 井 上 雅 公
特定医療法人長門真記念会長門記念病院	院長	臨床教授 後 藤 陽一郎
大分健生病院	理事長	臨床教授 樽 原 真 由 美
大分健生病院	院長	臨床教授 酒 井 誠
大分健生病院	副院長	臨床教授 今 里 幸 実
臼杵医師会立コスモス病院	院長	臨床教授 下 田 勝 広
臼杵医師会立コスモス病院	副院長	臨床教授 舛 友 一 洋
臼杵医師会立コスモス病院	内科部長	臨床教授 近 藤 誠 哉
社会医療法人敬和会岡病院	統括院長	臨床教授 森 照 明
社会医療法人敬和会岡病院	院長	臨床教授 立 川 洋 一
社会医療法人敬和会岡病院	副院長・心臓血管外科部長	臨床教授 迫 秀 則
社会医療法人敬和会岡病院	副院長・消化器外科センター長	臨床教授 荒 巻 政 憲
社会医療法人敬和会岡病院	副院長・形成外科部長・創傷ケアセンター長	臨床教授 古 川 雅 英
社会医療法人敬和会岡病院	外科部長	臨床教授 佐 藤 博
社会医療法人敬和会岡病院	心血管センター長・循環器内科部長	臨床教授 永 瀬 公 明
社会医療法人敬和会岡病院	循環器内科部長・心血管副センター長代行	臨床教授 宮 本 宣 秀
社会医療法人敬和会岡病院	循環器内科部長・心血管副センター長	臨床教授 大 家 辰 彦
社会医療法人敬和会岡病院	整形外科部長	臨床准教授 亀 井 誠 治
社会医療法人敬和会岡病院	循環器科部長	臨床准教授 金 子 匡 行
社会医療法人敬和会岡病院	循環器内科	臨床准教授 臨 坂 収
大分リハビリテーション病院	院長	臨床教授 山 口 豊
谷村胃腸科小児科医院	院長	臨床教授 谷 村 秀 行
めのクリニック	院長	臨床教授 米 野 壽 昭

病 院 (施設) 名・現 職・氏 名

(敬称略)

社会医療法人関愛会	会長	臨床教授	長 松 宜 哉
社会医療法人関愛会	理事長	臨床教授	増 永 義 則
医療法人関愛会佐賀開病院	副院長	臨床教授	大 屋 謙
医療法人関愛会佐賀開病院	内科	臨床教授	中 村 朋 子
竹田医師会病院	院長代行	臨床教授	白 石 晴 士
社会医療法人社団大久保病院	理事長	臨床教授	大 久 保 健 作
伊藤医院	院長	臨床教授	伊 藤 恭
久住加藤医院	院長	臨床教授	林 下 陽 二
国東市民病院	院長	臨床教授	榎 井 眞 二
国東市民病院	副院長	臨床教授	野 邊 靖 基
姪島村国民健康保険診療所	所長	臨床教授	三 浦 源 太
はるかぜ醫院	院長	臨床教授	坪 井 峯 男
杵築市立山香病院	院長	臨床教授	小 野 隆 司
杵築市立山香病院	副院長	臨床教授	石 尾 哲 也
医療法人新生会高田中央病院	理事長	臨床教授	瀧 上 茂
医療法人新生会高田中央病院	顧問	臨床教授	坂 本 啓 二
医療法人新生会高田中央病院	院長	臨床教授	小 田 孝 明
医療法人新生会高田中央病院	皮膚科部長	臨床教授	野 柳 俊 明
医療法人新生会高田中央病院	泌尿器科部長	臨床教授	江 本 昭 雄
川島整形外科病院	理事長	臨床教授	川 島 眞 人
川島整形外科病院	院長	臨床教授	川 島 眞 之
川島整形外科病院	副院長	臨床教授	永 芳 郁 文
川島整形外科病院	第二診療部長	臨床教授	古 江 幸 博
川島整形外科病院	第一診療部長	臨床教授	木 山 達 男
かわしまクリニック	所長	臨床教授	田 村 裕 昭
医療法人財団天心堂	理事長・へつぎ診療所所長	臨床教授	松 本 泰 祐
医療法人財団天心堂 へつぎ病院	副院長	臨床教授	岡 部 英 司
医療法人財団天心堂	へつぎ在宅クリニックASO所長	臨床教授	麻 生 哲 郎
医療法人財団天心堂	おおの診療所所長	臨床教授	石 丸 修
医療法人財団天心堂	介護老人保健施設陽光苑施設長	臨床教授	河 村 忠 雄
JCHO溝布院病院	副院長	臨床教授	井 上 龍 蔵

実習の手引き (抜粋)



地域医療実習における注意事項

実習を始めるにあたり

大分大学医学部は、大分県の高度先進医療・医学研究の拠点であると同時に、大分の地域医療を支える役割も担っている。近年、地域医療に対する社会的ニーズが高まっていることを踏まえ、大分大学では医学科5年生を対象に地域医療実習を開始した。本実習は、地域医療の第一線で活躍されている地域中核病院・診療所・介護保険施設の医師・看護師をはじめとするスタッフの方々、保健所・市町村行政の方々、および地域住民の方々から、多大な御協力を頂くことにより、初めて実現可能となったものである。

実習にあたり特に注意すること

- 1) 患者の“個人情報保護”を遵守すること。
- 2) 自身の健康に気をつけ、万全の体調で実習に臨めるように体調管理すること。
- 3) 時間を遵守すること。
- 4) 実習を欠席する場合は実習先病院と地域医療学センターに学生本人から連絡を入れること。
- 5) 挨拶を欠かさないこと。
- 6) 実習に相応しい服装、身なりをすること。
- 7) 患者には丁寧な言葉使い、誠実な態度で応接すること。

準備するもの

- 1) “清潔な”白衣
- 2) 名札
- 3) 聴診器、ペンライトなどの診察用具
- 4) 筆記用具・ノート類
- 5) 上履き（スリッパ不可）

その他の注意事項

- 1) 各自、配属先の病院連絡欄を一読し、実習配属の2週間前に担当医師および事務担当の方々に連絡を必ず入れること。
(本手引きに記載のない担当医師のメールアドレスは、個別にメールでお知らせます)
- 2) 実習初日(月曜日<祝日の場合は火曜日>)の集合時間は9時、場所は管理棟3階中会議室です。



【大分大学地域医療実習における心得】

- 学生といえども、診療チームの一員として患者診療に『責任』を持って関わること。
- 自分のできる範囲で、自分の獲得している知識、技能、態度を使って患者に貢献すること。
その時、初めて自分には何が出来て、何が出来ないのかを知ることができる。
- 日々の研修を通して、貢献できる範囲を広げていけるようにする。

地域医療実習の一般目標、到達目標、行動目標

【一般目標】

地域医療に貢献する能力を身につけるために、体験学習をとおして地域医療の現状および課題を理解し、地域医療における医師・患者関係および保健・医療・福祉・介護のネットワークを学び、地域住民が必要とする医療について考える。

【到達目標】

- 1) 地域医療に求められる役割と機能および体制等、地域医療の在り方を概説できる。
- 2) へき地における地域医療の現状と課題について説明できる。
- 3) 医師の偏在（地域および診療科）の現状について説明できる。
- 4) 地域における、保健（母子保健、老人保健、精神保健、学校保健）・医療・福祉・介護の分野間の連携の必要性について説明できる。
- 5) プライマリ・ケアの必要性を説明できる。
- 6) 地域における、救急医療、在宅ケアの体制を説明できる。
- 7) 患者、医療スタッフ、地域住民と良好にコミュニケーションできる。
- 8) 地域医療に積極的に参加・貢献する。

【行動目標】

- 1) 地域中核病院における病棟診療、外来診療に参加する。
- 2) 地域中核病院における救急医療（当直）に参加する。
- 3) 診療所における外来診療に参加する。
- 4) 訪問診療、訪問看護に参加する。
- 5) 保健所における業務に参加し、保健活動を体験する。
- 6) 介護保険施設における福祉、介護を体験する。
- 7) 医療スタッフと地域医療について語り合う。
- 8) 行政関係者や地域住民と医療について語り合う。

施設ごとの到達目標・行動目標

中核病院における病棟実習

- ① 1名の患者を2週間にわたり担当する。
- ② 原則として毎日、担当患者の間診、診察を行い、カルテ(学生用)に記載するとともに、日々の変化を主治医、あるいは看護師へ報告し、対処方法について検討する。
- ③ 担当患者の疾患のみならず、家族、暮らしている環境、地域について理解する。
- ④ 担当患者の処置、検査、手術、リハビリ等に立ち会い、指示された役割を果たす。
- ⑤ 担当患者の主治医意見書、訪問看護指示書、訪問リハビリ指示書等の草案を作成する。
- ⑥ 病棟患者の看護的業務の介助を行う。
- ⑦ 病棟カンファレンスや医療ソーシャルワーカー(MSW)の業務見学などを通じて、病院とその他の医療、介護・福祉施設との医療連携について理解する。
- ⑧ 機会があれば臨終に立ち会い、死後処置などを見学する。
- ⑨ 任された業務において、責任を持って患者に貢献するよう努める。

中核病院における救急(当直)実習

- ① 指導医とともに夜間当直を行う。
- ② 指導医の指導・監視の下、診察を行う。
- ③ 指導医の指導・監視の下、検査(心電図、検尿、採血など)を行う。
- ④ 指導医の指導・監視の下、治療(創傷処置、止血、縫合など)を行う。
- ⑤ 気管内挿管、心臓マッサージ、電気的除細動の介助、見学を行う。
- ⑥ 指導医の許可の下、患者、家族への病状説明に同席する。
- ⑦ 地域における救急医療および災害医療の体制を理解する。
- ⑧ 救急隊からの救急患者受け入れの流れを理解する。

中核病院における外来実習

- ① 初診患者の間診、身体診察を行い、診断・治療方針を自ら考える。
- ② 指導医の外来診察を見学し、患者・医師関係、臨床推論の仕方を理解する。
- ③ 再来患者の間診、血圧・体温・酸素飽和度(SpO₂)測定を行う。
- ④ 外来における処置の介助を行う。

診療所における外来実習

- ① 指導医の診察を見学し、医師-患者コミュニケーションや診察における技能や態度を学習する。
- ② 初診患者の間診および身体診察を行い、臨床推論を立てる。
- ③ 再来患者の血圧・体温・酸素飽和度(SpO₂)測定を行う。
- ④ 指導医の指導・監視の下、心電図、超音波検査を行う。
- ⑤ リハビリの介助を行う。
- ⑥ 創傷処置、皮膚消毒、包帯交換の見学、介助を行う。
- ⑦ 患者・家族へのインタビューから住民が診療所に期待する思いを理解する。

訪問診療実習

- ① 訪問診療(往診)に同行する。
- ② 訪問先で血圧・体温・酸素飽和度(SpO₂)測定、身体診察などを行う。
- ③ 患者の異変を察知する努力をする。
- ④ 患者および家族とのコミュニケーションを図る。
- ⑤ 患者および家族との会話から、在宅医療のメリット・デメリットを知る。
- ⑥ 患者の家族構成・居住環境を確認し、問題点とその解決策を考える。
- ⑦ 患者に必要な医療、福祉、介護について考える。

訪問看護ステーションにおける実習

- ① 訪問看護に同行する。
- ② 訪問先で血圧・体温・酸素飽和度(SpO₂)測定、身体診察などを行う。
- ③ 看護的業務(体位変換、おむつ交換、移送など)の介助を行う。
- ④ 患者および家族とのコミュニケーションを図る。
- ⑤ 患者および家族との会話から、在宅医療のメリット・デメリットを知る。
- ⑥ 患者の家族構成・居住環境を確認し、問題点とその解決策を考える。
- ⑦ 患者に必要な医療、福祉、介護について考える。

保健所における実習

- ① 地域の保健業務について学習する。
- ② 地域における予防医療の重要性を理解する。
- ③ 保健師の家庭訪問に同行し、その活動を体験する。
- ④ 食中毒や集団感染症の対応を見学する。
- ⑤ 地区の健康相談会などで業務を分担する。
- ⑥ 地域住民に対して健康講話を行う。

福祉施設における実習

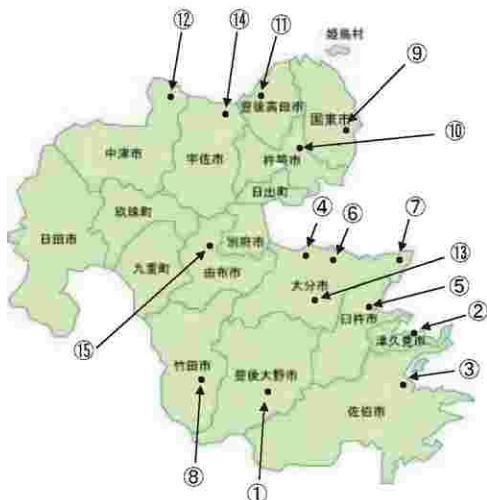
- ① 看護的業務(体位変換、おむつ交換、移送など)の介助を行う。
- ② 入浴介助、食事介助などを手伝う。
- ③ リハビリテーションに参加し、介助を行う。
- ④ 入居者と懇談する等、コミュニケーションを図る。
- ⑤ ケア・カンファレンスに参加する。

市町村健康福祉課での実習

- ① 市長あるいは健康福祉課長から地域医療の現状について話を聞く。
- ② その地区の医療・保健・福祉のネットワークについて理解する。
- ③ 乳幼児検診・三歳児検診などに参加し、介助を行う。
- ④ 住民の健康相談に立ち会う。
- ⑤ 地域住民の医療ニーズを理解する。

地域医療実習病院

- ① 豊後大野市民病院
- ② 津久見市医師会立津久見中央病院
- ③ JCHO 南海医療センター
- ④ 大分健生病院
- ⑤ 臼杵市医師会立コスモス病院
- ⑥ 大分岡病院
- ⑦ 佐賀関病院
- ⑧ 竹田医師会病院
- ⑨ 国東市民病院
- ⑩ 杵築市立山香病院
- ⑪ 高田中央病院
- ⑫ 川島整形外科病院
- ⑬ 天心堂へつぎ病院
- ⑭ 宇佐高田医師会病院
- ⑮ JCHO 湯布院病院



豊後大野市民病院

病 院 長：木下 忠彦

実 習 責 任 者：木下 忠彦（事業管理者兼院長）

実 習 担 当 者：岩尾 哲（副院長） 拜郷 敦彦（副院長） 森井 雄治（副院長）

工藤 政信（内科総合診療部長） 棚橋 仁（消化器内科部長）

横山 敦（呼吸器内科部長） 吉村 誠一郎（内科総合診療副部長）

松本 紘幸（呼吸器内科） 得丸 智子（消化器内科）

実習協力施設：三重東クリニック 特別養護老人ホーム任運荘 障がい者支援施設騰々舎
大分県豊肥保健所 豊後大野市役所

第1週	午前	昼	午後	17時以降
月曜日	実習の概要説明 (地域医療学センター)			
火曜日	オリエンテーション (豊後大野市民病院)	院長と昼食	病棟実習・患者担当 内科カンファランス (豊後大野市民病院)	宿泊
水曜日	外来実習・リハビリ見学 (豊後大野市民病院)	昼食	病棟実習・看護実習 (豊後大野市民病院)	宿泊/当直
木曜日	診療所での外来実習 (三重東クリニック)	昼食	診療所での往診 (三重東クリニック)	宿泊 懇親会
金曜日	行政、市民との懇談 講義・相談業務など (市役所市民生活課)	昼食	保健所実習 (大分県豊肥保健所)	

第2週	午前	昼	午後	17時以降
月曜日	外来実習・指導医につく (豊後大野市民病院)	昼食	外科カンファランス 病棟実習 (豊後大野市民病院)	宿泊
火曜日	健診センター実習 (豊後大野市民病院)	昼食	訪問看護・訪問に同行 (豊後大野市民病院、市 内)	宿泊/当直
水曜日	外来実習・指導医につく (豊後大野市民病院)	昼食	病棟実習 病棟カンファランス (豊後大野市民病院)	宿泊
木曜日	特別養護老人ホーム 障がい者支援施設 (講義、デイケア等) (任運荘、騰々舎)	昼食	特別養護老人ホーム 障がい者支援施設 (回診、介護保険学習) (任運荘、騰々舎)	宿舎片づけ
金曜日	発表会準備 (地域医療学センター)	昼食	発表会 (地域医療学センター)	

 は地域医療学センターにて

津久見市医師会立 津久見中央病院

病 院 長：石川 浩一

実習責任者：石川 浩一（院長）

実習担当者：竹下 泰（病院担当特命理事） 藤井 及三（外科部長）

黒木 隆則（整形・リハビリ部長） 成松 隆弘（泌尿器科部長）

実習協力施設：介護老人保健施設つくみかん 津久見中央病院へき地巡回診療所

津久見市医師会訪問看護ステーション

津久見市医師会市民健康管理センター

保戸島診療所 秋岡医院 池邊整形外科 姫野胃腸科クリニック

津久見市役所健康推進課 中部保健所

第1週	午前	昼	午後	17時以降
月曜日	実習の概要説明 (地域医療学センター)			
火曜日	オリエンテーション、病棟 実習 (津久見中央病院)	昼食 (病院)	へき地巡回診療所(四浦)、病棟 実習 副院長より「地域医療について」	官舎宿泊
水曜日	介護施設での実習 (つくみかん)	昼食 (病院)	病院での実習 糖尿病カンファ、透析、3F	医局会
木曜日	市民健康管理センター実習 (センター)	昼食 (病院)	病院で手術・病棟実習 (病棟・搬入・手術)・病棟	当直
金曜日	保健所実習 (臼杵市)	昼食 (病院)	病棟での実習 放射線・薬剤・MSW	

内科・内視鏡・救急

第2週	午前	昼	午後	17時以降
月曜日	保戸島診療所実習 (保戸島)	昼食 (保戸島)	保戸島診療所実習 (保戸島)	官舎宿泊
火曜日	訪問看護での訪問実習 (訪問看護ステーション)	昼食 (病院)	内科回診、リハビリ回診、病棟実習	官舎宿泊 スタッフとの懇談会
水曜日	診療所実習 (市内)	昼食 (病院)	診療部各科部長からの話	医局会 指導医とのまとめ
木曜日	病院での外来実習 内科・外科回診・救急	昼食 (病院)	乳幼児健診・行政との懇談 (市民会館、市役所)	
金曜日	発表会準備 (地域医療学センター)	昼食	発表会 (地域医療学センター)	

は地域医療学センターにて

JCHO 南海医療センター

病 院 長：森本 章生

実 習 責 任 者：森本 章生（院長、南海医療センター附属介護老人保健施設長）

実 習 担 当 者：森本 章生（院長、南海医療センター附属介護老人保健施設長）

実習協力施設：南海医療センター附属介護老人保健施設 長門記念病院
 杉谷診療所 大島診療所 南部保健所

第1週	午前	昼	午後	17時以降
月曜日	実習の概要説明 (地域医療学センター)			
火曜日	移動・オリエンテーション (南海医療センター)	院長と昼食	病棟実習（受け持ち症例） 佐伯市の医療事情 (南海医療センター)	宿泊
水曜日	病棟実習 リーダー看護業務 (南海医療センター)	昼食	病棟実習 リーダー看護業務 (南海医療センター)	宿泊/当直
木曜日	附属老健施設で実習 (介護老人保健施設)	昼食	地域往診 (長門記念病院)	宿泊
金曜日	市内診療所実習 外来診療等 (杉谷診療所)	診療所長と 昼食	市内診療所実習 訪問診療 (杉谷診療所)	

第2週	午前	昼	午後	17時以降
月曜日	外来・検査部実習 (南海医療センター)	昼食	病棟・リハビリ実習 (南海医療センター)	宿泊/当直
火曜日	市内診療所実習 定期船で島に渡ります。 (大島診療所)	診療所長と 昼食	救急・薬剤部実習 NSTの役割 (南海医療センター)	宿泊
水曜日	保健所実習 (南部保健所)	昼食	手術室実習 縫合・糸結び等 (南海医療センター)	懇談会 宿泊
木曜日	外来・検査部実習 (南海医療センター)	昼食	病棟実習・まとめ (南海医療センター)	
金曜日	発表会準備 (地域医療学センター)	昼食	発表会 (地域医療学センター)	

は地域医療学センターにて

大分健生病院

病院長：酒井 誠

実習責任者：酒井 誠（院長）

実習担当者：橋原 真由美（理事長） 足立 晃子（小児科医長） 今里 幸実（副院長）
 亀井 たけし（けんせいホームケアクリニック所長）
 仲 雷太（竹田診療所所長）

実習協力施設：竹田診療所 けんせいホームケアクリニック
 つる訪問看護ステーション 健生訪問入浴サービスセンター
 医療生協子育て、療育支援センター「きらり」
 医療生協訪問介護サービスセンター

第1週	午前	昼	午後	17時以降
月曜日	実習の概要説明 (地域医療学センター)			
火曜日	オリエンテーション 小児科・内科外来実習 (大分健生病院)	昼食	病棟実習 (大分健生病院)	
水曜日	往診実習 (けんせいホームケアクリニック)	昼食	リハビリテーション課実習 (大分健生病院)	
木曜日	過疎地診療所実習 (竹田診療所)	昼食	過疎地診療所実習 (竹田診療所)	懇親会
金曜日	児童デイサービス実習 (子育て療育支援センターきらり)	昼食	小児科発達特診実習 (大分健生病院)	当直

第2週	午前	昼	午後	17時以降
月曜日	地域住民向け学習会に参加 (各集会所)	昼食	嚥下造影 (大分健生病院)	
火曜日	外来処置室・採血実習 (大分健生病院)	昼食	乳児健診実習 (大分健生病院)	
水曜日	訪問看護実習 (つる訪問看護ステーション)	昼食	往診実習 (大分健生病院)	夜間診療
木曜日	訪問介護実習 (医療生協訪問介護サービスセンター)	昼食	実習報告会 (大分健生病院)	
金曜日	発表会準備 (地域医療学センター)	昼食	発表会 (地域医療学センター)	

上記は1例です。ご希望に応じて実習内容が選択出来ます。

は地域医療学センターにて

大分健生病院での実習の特徴

地域住民向け学習会に参加	地域の皆さんが集まる学習会（医療生協班会）に、参加していただけます。生活習慣病や健康増進について、医学生の視点からアドバイスをお願いします。
竹田診療所実習	竹田市にある診療所にて、高齢過疎地医療の現場を体験出来ます。 【実習内容】 外来、往診、デイケア
小児分野	医師、心理士、言語聴覚士が連携して、子どもとご両親に関わっています。子どもが大好きな方、発達障がいに興味のある方、是非実習にお越し下さい。 【実習内容】 外来、乳児健診、発達特診、小児リハ、児童デイサービス
在宅分野	患者さんは、退院後どのような暮らしをしているのでしょうか。自宅や施設を訪ねて、地域医療の在り方を学びましょう。 【実習内容】 往診、訪問看護、訪問入浴、訪問介護、訪問リハ、歯科往診
介護分野	介護・福祉はこれから大切になってくる分野です。利用者さんとの交流を通して、介護の現場を体験してみませんか。 【実習内容】 グループホーム、ケアホーム、訪問介護、デイサービス

白杵市医師会立 コスモス病院

病 院 長：下田 勝広

実 習 責 任 者：下田 勝広（院長）

実 習 担 当 者：舩友 一洋（副院長） 近藤 誠哉（内科部長） 小川 聡（第一外科部長）

実習協力施設：介護老人保健施設南山園 藤野循環器科内科医院 白杵わかばクリニック
 白杵市地域包括支援センター 中部保健所 白杵消防署
 白杵市役所保険健康課

第1週	午前	昼	午後	17時以降
月曜日	実習の概要説明 (地域医療学センター)			
火曜日	移動・オリエンテーション (コスモス病院)	院長と昼食	退院前自宅訪問 (コスモス病院・リハビリ)	宿泊
水曜日	診療所での外来実習A /救急車同乗実習B (市内クリニック/消防署)	昼食	訪問看護A/ 褥瘡・NST回診・病棟実習B (訪問看護/コスモス病院・病棟)	宿泊
木曜日	医療と福祉の狭間 (地域包括支援センター)	昼食	福祉実習/病棟実習 (コスモス病院・連携室)	宿泊/当直
金曜日	保健所実習 (中部保健所)	昼食	病棟実習・カンファなど (コスモス病院・病棟)	

第2週	午前	昼	午後	17時以降
月曜日	老人保健施設での実習 (南山園)	昼食	老人保健施設での実習 (南山園)	宿泊
火曜日	病棟実習 担当医と共に (コスモス病院・病棟)	昼食	行政との懇談 (市役所・保険健康課)	宿泊/当直
水曜日	診療所での外来実習B /救急車同乗実習A (市内クリニック/消防署)	昼食	訪問看護B/ 褥瘡・NST回診・病棟実習A (訪問看護/コスモス病院・病棟)	宿泊
木曜日	中核病院での外来実習 (コスモス病院・外来)	昼食	CPX・まとめ（発表） (コスモス病院・病棟)	
金曜日	発表会準備 (地域医療学センター)	昼食	発表会 (地域医療学センター)	



は地域医療学センターにて

大分岡病院

病 院 長：立川 洋一

実習責任者：立川 洋一（院長）

実習担当者：迫 秀則（副院長） 荒巻 政憲（副院長） 古川 雅英（副院長）

実習協力施設：谷村胃腸科小児科医院 大分豊寿苑 大分市保健所
在宅支援クリニック すばる こいけばる憩いの苑

第1週	午前	昼	午後	17時以降
月曜日	実習の概要説明 (地域医療学センター)			
火曜日	オリエンテーション (ガイダンス、病院見学、 電子カルテ記載法など)	指導医と昼食	栄養課 NST 地域医療連携 (コメディカルとの交流)	宿泊
水曜日	病院外来実習 (創傷、初期診療を中心に)	指導医と昼食	救急外来／病棟実習	宿泊
木曜日	グループホーム こいけばる憩いの苑	昼食	訪問診療 (在宅支援クリニックすばる)	宿泊(当直)
金曜日	病院リハビリテーション 実習	院長と昼食	大分市保健所	

第2週	午前	昼	午後	17時以降
月曜日	病棟実習 (受け持ち患者診察、病棟薬 剤師、病棟リハビリテーション、 ヘルパー業務)	指導医と昼食	薬剤部／臨床検査 (コメディカルとの交流)	宿泊
火曜日	関連診療所で外来実習 (谷村胃腸科小児科医院)	昼食	放射線科 在宅訪問	宿泊(当直)
水曜日	大分豊寿苑	昼食	訪問看護 (訪問看護ステーション)	宿泊
木曜日	救急外来／病棟実習	指導医と昼食	病棟実習 (受け持ち患者、看護)	まとめ(発表)
金曜日	発表会準備 (地域医療学センター)	昼食	発表会 (地域医療学センター)	



は地域医療学センターにて

佐賀関病院

病院長：城 日出徳

実習責任者：増永 義則

実習担当者：長松 宜哉 増永 義則 城 日出徳 甲原 芳範 大屋 譲 大屋 ゆり 中村 朋子
杉本 剛 姫野 信治 黒田 明子 甲斐 誠司 松島 文子 平山 匡史 小川 農太
織田 奈穂美 宇都宮 健志 飯尾 文昭 別府 幹庸 菅 聡 橋永 さおり
長濱 明日香 坪山 明寛

佐賀関診療所 一尺屋診療所 こうざきクリニック 三重東クリニック 清川診療所

実習協力施設：坂ノ市病院 王子クリニック よつばファミリークリニック 高齢者介護施設ひまわり
デイケアもみの木 有料老人ホーム海風 老人保健施設せきの郷 ナーシングケアホーム類

第1週	午前	昼	午後	17時以降
月曜日	実習の概要説明 (地域医療学センター)			
火曜日	オリエンテーション/内科外来		訪問診療①	
水曜日	選択①		栄養サポートチーム回診/病棟実習	懇談会
木曜日	へきち診療所実習		老人保健施設/訪問介護実習	
金曜日	選択②		訪問看護実習	

第2週	午前	昼	午後	17時以降
月曜日	リハビリテーション病棟実習		訪問診療②	
火曜日	メディカルソーシャルワーカー実習		病棟看護実習/褥瘡回診	
水曜日	選択③		選択④	当直実習
木曜日	病院内科外来実習		まとめ	
金曜日	発表会準備 (地域医療学センター)	昼食	発表会 (地域医療学センター)	

【選択項目】

病院外科外来実習	小一中規模の市中病院で外科の先生が行っている診療に参加、見学をします。	医師
病院整形外科実習	小一中規模の市中病院で整形外科の先生が行っている診療に参加、見学をします。	医師
都市部診療所実習	都市部の診療所で行われている医療に参加します。在宅療養支援診療所の役割についても学びます。	医師、看護師
デイスーパービス実習	利用者の方々と触れ合いながら、デイスーパービスの意義、実際について体験します。通所介護。	介護福祉士、看護師、ケアマネージャ
デイケア実習	利用者の方々と触れ合いながら、デイケアの意義、実際について体験します。通所リハビリ。	理学療法士 作業療法士
訪問リハビリ実習	理学療法士、作業療法士が利用者の自宅に向くところと同行します。	理学療法士 作業療法士
ナーシングホーム実習	医療が必要なものの入院するほどではない方が過ごせるナーシングホーム。他施設との違いを体験します。	看護師 介護福祉士
歯科実習	歯科診療所で見学をします。歯科との連携は高齢患者さんの口腔ケア、食事摂取を考える際にかかせません。	歯科医師 歯科衛生士

竹田医師会病院

病 院 長：白石 晴士（院長代行）

実 習 責 任 者：白石 晴士（院長代行）

実 習 担 当 者：竹田医師会病院（白石晴士院長代行 他）
 加藤病院（加藤一郎 院長他） 大久保病院（原川哲典 院長他）
 久住加藤医院（林下陽二 院長） 須小耳鼻咽喉科（須小 毅 院長）
 竹田診療所（仲 雷太 所長） 柚須医院（柚須 慎 院長）
 くどう循環器科・内科（工藤博司 院長）

実習協力施設：加藤病院 大久保病院 久住加藤医院 須小耳鼻咽喉科 竹田診療所 柚須医院
 くどう循環器科・内科 大分県豊肥保健所 竹田市役所

第1週	午前	昼	午後	17時以降
月曜日	実習の概要説明 (地域医療学センター)			
火曜日	オリエンテーション (竹田医師会病院)	昼食	外来実習 (柚須医院/くどう循環器科・内科)	市内宿泊施設
水曜日	巡回診療 (竹田医師会病院)	昼食	診療所実習 (竹田診療所)	市内宿泊施設
木曜日	訪問看護介護実習 (大久保病院)	昼食	外来実習 (大久保病院)	市内宿泊施設
金曜日	外来実習 (須小耳鼻咽喉科)	昼食	訪問看護実習 (竹田訪問看護ステーション)	

第2週	午前	昼	午後	17時以降
月曜日	外来実習 (加藤病院)	昼食	行政との懇談 予防接種・健診視察 (竹田市役所)	当直 (A) 市内宿泊施設
火曜日	診療所実習 (久住加藤医院)	昼食	インフルエンザ用卵農場視察 (久住加藤医院)	市内宿泊施設
水曜日	救急実習（ドクターカー・ヘリ） (竹田市消防本部)	昼食	保健所実習 (大分県豊肥保健所)	当直 (B) 市内宿泊施設
木曜日	地域連携・退院支援 (竹田医師会病院)	昼食	まとめ・反省会 (竹田医師会病院)	
金曜日	発表会準備 (地域医療学センター)	昼食	発表会 (地域医療学センター)	

国東市民病院

病 院 長： 初井 真二

実 習 責 任 者： 初井 真二 (院長)

実 習 担 当 者： 野邊 靖基 (副院長) 安田 一弘 (副院長)
三浦 源太 (姫島村国民健康保険診療所所長)
坪井 峯男 (はるかぜ醫院院長)

実習協力施設： 姫島村国民健康保険診療所 はるかぜ醫院 特別養護老人ホーム「鈴鳴荘」
国東市役所保健センター 姫島村役場 グループホーム「ひだまり」

グループ①③⑤
(姫島村診療所)

第1週	午前	昼	午後	17時以降
月曜日	実習の概要説明 (地域医療学センター)			
火曜日	オリエンテーション 院長講話 (国東市民病院)	昼食	病棟実習 (国東市民病院)	医療スタッフとの懇談会 宿泊
水曜日	地域医療連携業務体験 (国東市民病院)	昼食	訪問看護または巡回診療体験 (国東市民病院)	当直
木曜日	小児科外来実習 (国東市民病院)	昼食	病棟実習 (国東市民病院)	宿泊
金曜日	新患外来実習 (国東市民病院)	昼食	介護保健施設体験 (鈴鳴荘)	

第2週	午前	昼	午後	17時以降
月曜日	訪問リハビリ (国東市民病院)	昼食	病棟実習 訪問看護または巡回診療体験 (国東市民病院)	宿泊
火曜日	移動① (姫島村診療所) オリエンテーション (姫島村診療所)	昼食	村長または総務課長との懇談 (姫島村役場) 訪問診療など (姫島村診療所)	宿泊 住民との懇談会
水曜日	外来研修、グループホーム研修 (姫島村診療所) (グループホームひだまり)	昼食	移動② (国東市民病院) 病棟実習 (国東市民病院)	宿泊
木曜日	保健活動体験 (国東市役所保健センター)	昼食	病棟実習 (国東市民病院) まとめ (症例発表)	
金曜日	発表会準備 (地域医療学センター)	昼食	発表会 (地域医療学センター)	

移動①： 国東市民病院からは病院公用車で伊美港まで移動。伊美港11時00分発のフェリーに乗船、11時25分に姫島港着。

移動②： 姫島港14時10分発のフェリーに乗船。伊美港から15時36分発のバスへ乗車し国東バスターミナルへ。

国東バスターミナル17時10分発、国東市民病院前経由のバスへ乗り換え。

※祝日がある場合等、若干の日程変更があります。

グループ②④
(はるかぜ醫院)

第1週	午前	昼	午後	17時以降
月曜日	実習の概要説明 (地域医療学センター)			
火曜日	オリエンテーション 院長講話 (国東市民病院)	昼食	病棟実習 (国東市民病院)	医療スタッフとの 懇談会 宿泊
水曜日	地域医療連携業務体験 (国東市民病院)	昼食	訪問看護または巡回診療体験 (国東市民病院)	当直
木曜日	小児科外来実習 (国東市民病院)	昼食	病棟実習 (国東市民病院)	宿泊
金曜日	新患外来実習 (国東市民病院)	昼食	介護保健施設体験 (鈴鳴荘)	

第2週	午前	昼	午後	17時以降
月曜日	訪問リハビリ (国東市民病院)	昼食	病棟実習 訪問看護または巡回診療体験 (国東市民病院)	宿泊
火曜日	移動① (病院公用車) (はるかぜ醫院)	昼食	移動② (バス) 病棟実習 (国東市民病院)	宿泊
水曜日	移動③ (病院公用車) (はるかぜ醫院)	昼食	(はるかぜ醫院) 移動④ (病院公用車)	宿泊
木曜日	保健活動体験 (国東市役所保健センター)	昼食	病棟実習 (国東市民病院) まとめ (症例発表)	
金曜日	発表会準備 (地域医療学センター)	昼食	発表会 (地域医療学センター)	

移動^{①③④}: 病院公用車で移動。

移動^②: 実習の進行状況により時間変動あり。最寄りの大黒毛バス停留所より乗車し、乗り換えをはさみ国東市民病院前まで。

1. 11時17分発のバスへ乗車し、国東バスターミナル12時15分発へ乗り換え。
2. 15時46分発のバスへ乗車し、国東バスターミナル17時10分発へ乗り換え。

※祝日がある場合等、若干の日程変更があります。

杵築市立山香病院

病 院 長：小野 隆司

実習責任者：小野 隆司（院長）

実習担当者：石尾 哲也（副院長） 山下 昇（循環器内科部長） 藤井 猛（泌尿器科部長）
 半田 陽祐（小児科部長） 圓福 真一朗（外科部長）
 日野 瑛太（総合診療科） 菅原 功一郎（老健施設長）
 大野 繁樹（渡辺内科医院） 内田 勝彦（東部保健所）

実習協力施設：渡辺内科医院 東部保健所 杵築市介護老人保健施設「グリーンケアやまが」
 杵築市山香福祉ステーション 杵築市立山香病院健診センター 杵築市役所

第1週	午前	昼	午後	17時以降
月曜日	実習の概要説明 (地域医療学センター)			
火曜日	移動・オリエンテーション (杵築市立山香病院)	昼食	病棟実習 (杵築市立山香病院)	宿泊
水曜日	訪問看護実習 (杵築市山香福祉ステーション)	昼食	訪問リハビリ実習 (杵築市山香福祉ステーション)	宿泊(当直)
木曜日	外来実習 (杵築市立山香病院)	昼食	保健所実習 (東部保健所)	宿泊
金曜日	市の保健事業実習 (杵築市・健康長寿あんしん課)	昼食	訪問診察実習 (杵築市山香福祉ステーション)	

第2週	午前	昼	午後	17時以降
月曜日	病棟実習 (杵築市立山香病院)	昼食	市長との懇談 (杵築市役所)	宿泊
火曜日	診療所実習 (渡辺内科医院)	昼食	老人保健施設実習 (グリーンケアやまが)	宿泊
水曜日	外来実習 (杵築市立山香病院)	昼食	訪問入浴実習 (杵築市山香福祉ステーション)	宿泊(当直)
木曜日	健診実習 (杵築市立山香病院健診センター)	昼食	病棟実習・まとめ (杵築市立山香病院)	
金曜日	発表会準備 (地域医療学センター)	昼食	発表会 (地域医療学センター)	

高田中央病院

病 院 長：瀧上 茂

実 習 責 任 者：瀧上 茂（理事長）

実 習 担 当 者：小田 孝明（院長 整形外科部長）

齋藤 美恵子（内科副部長 糖尿病専門）

三重野 斉（内科部長 呼吸器内科部長） 野柳 俊明（皮膚科部長）

江本 昭雄（泌尿器科部長） 岩尾 俊昭（消化器内科部長）

道野 慎太郎（放射線科部長） 坂本 啓二（顧問）

新納 哲男（小児科部長）

実習協力施設：診療所「サンクリニック」 老人保健施設「サングレイス香々地」

介護老人ホーム「六輝園」 介護付有料老人ホーム「ケアブレイス・オリーブ」

第1週	午前	昼	午後	17時以降
月曜日	実習の概要説明 (地域医療学センター)			
火曜日	実習オリエンテーション 老健・診療所訪問	実習責任者 との昼食	企業産業医研修 介護老人ホーム往診	宿泊
水曜日	整形外科カンファ 回診、外来見学	昼食	内科カンファ 病棟（指定患者担当）	宿泊
木曜日	介護・保健・福祉行政 (保健所・市役所等)	昼食	へき地巡回診療 救急外来実習	夜間救急外来実習 宿泊
金曜日	回診、外来診療	昼食	病棟看護、ケア実習	まとめ（意見交換） 次週予定確認

第2週	午前	昼	午後	17時以降
月曜日	整形外科カンファ 回診、外来見学	昼食	在宅支援部（通所リハ、 訪問看護、ケア事業）	宿泊
火曜日	外来見学 エコー立会い	院長との昼食	内視鏡見学	宿泊
水曜日	透析、リハビリ 放射線科 実習	昼食	病棟看護・ケア実習	懇談会 宿泊
木曜日	回診、外来診療	昼食	救急外来実習	総括
金曜日	発表会準備 (地域医療学センター)	昼食	発表会 (地域医療学センター)	

場合によっては予定が変更される事も有りますのでご了承下さい。

予定が合えば、保健所や市役所等の行政活動に関する実習も取り入れます。

病 院 長：川寫 眞人

実習責任者：川寫 眞人（理事長）

実習担当者：川寫 眞之（院長） 永芳 郁文（副院長）
 本山 達男（診療部長） 古江 幸博（診療部長）
 田村 裕昭（かわしまクリニック所長）

実習協力施設：ダイハツ九州 中津市民病院 かわしまクリニック 老健のみ
 訪問看護ステーションかわしま サ高住・デイサービスひだまり

第1週	午前	昼	午後	17時以降
月曜日	実習の概要説明 (地域医療学センター)			
火曜日	病院外来実習 (川寫整形外科病院)	昼食	クリニック外来実習 (かわしまクリニック)	宿泊
水曜日	病棟・手術実習・退院調整会議等 (川寫整形外科病院)	昼食	病棟・手術実習 (川寫整形外科病院)	宿泊
木曜日	訪問看護・リハ実習 (訪問看護ステーション かわしま)	昼食	病棟・手術実習 (川寫整形外科病院)	宿泊
金曜日	通所リハ・老健施設実習 (通所リハ・なのみ)	昼食	老健・サ高住・デイサービス 実習 (なのみ・ひだまり)	

第2週	午前	昼	午後	17時以降
月曜日	中津市民病院実習 (中津市民病院)	昼食	中津市民病院実習 (中津市民病院)	宿泊
火曜日	中津市民病院実習 (中津市民病院)	昼食	中津市民病院実習 (中津市民病院)	宿泊
水曜日	病棟実習・退院調整会議等 (川寫整形外科病院)	昼食	産業医実習 (ダイハツ九州㈱)	宿泊
木曜日	病院外来実習 (川寫整形外科病院)	昼食	病棟実習・まとめ (川寫整形外科病院)	
金曜日	発表会準備 (地域医療学センター)	昼食	発表会 (地域医療学センター)	

天心堂へつぎ病院

病 院 長：石丸 修

実習責任者：石丸 修（院長）

実習担当者：石丸 修（へつぎ病院院長） 松本 泰祐（へつぎ診療所所長）
 麻生 哲郎（へつぎ在宅クリニックASO所長） 河村 忠雄（陽光苑苑長）
 岡部 英司（おおの診療所所長） 宮島 一（へつぎ病院医局長）

実習協力施設：へつぎ診療所 へつぎ在宅クリニックASO 介護老人保健施設 陽光苑
 おおの診療所 介護老人保健施設 おおの郷

1. へつぎ病院（火曜・金曜）、陽光苑（水曜・木曜）

第1週	午前	昼	午後	17時以降
月曜日	実習の概要説明 (地域医療学センター)			
火曜日	へつぎ病院 オリエンテーション チーム医療の流れ1	副院長と昼食 (検食)	へつぎ病院 チーム医療の流れ2 看護実習、透析カンファ・ 内科カンファ	宿泊
水曜日	老健 陽光苑 入退所判定会議	指導医と昼食 (検食)	老健 陽光苑実習 ケアプランカンファレンス	宿泊/当直
木曜日	老健 陽光苑 入所者回診	昼食	老健 陽光苑 通所リハビリテーション 天心堂在宅会議	会食
金曜日	へつぎ病院 透析・リハビリ	リハスタッフ又は 院長と昼食	へつぎ病院 回復期リハ病棟 連携支援	

2. へつぎ診療所・へつぎ在宅クリニックASO（上段）、おおの診療所（下段）

第2週	午前	昼	午後	17時以降
月曜日	概要説明 訪問リハビリ	在宅責任者 昼食	訪問看護	宿泊
	オリエンテーション		訪問診療	
火曜日	デイサービス	指導医と 昼食	訪問診療	宿泊
	外来診療		訪問診療	
水曜日	訪問リハ	昼食	在宅介護	宿泊/当直
	オリエンテーション		訪問診療	
木曜日	地域包括支援センター	在宅看護・ 介護責任者	訪問診療	
	外来診療		訪問診療	
金曜日	発表会準備 (地域医療学センター)	昼食	発表会 (地域医療学センター)	

*1 第2週は、月火・水木で、へつぎ在宅クリニックASOとおおの診療所へ相互に各々に実習。
 おおの診療所（下段）は戸次から約36km離れ、過疎地域での医療を体験できます。

*2 実習内容について、希望があれば調整可能です。

宇佐高田医師会病院

病 院 長： 柏木 孝仁

実 習 責 任 者： 柏木 孝仁 (病院長)

実 習 担 当 者： 宇佐高田医師会病院 (柏木 孝仁 院長他)
 医療法人宇水会 クリニックオアシス (石田 浩一郎 院長他)
 宇佐中央内科病院 (徳光 陽一郎 院長他)

実習協力施設： クリニックオアシス 宇佐中央内科病院
 医療法人宇水会 介護老人保健施設「オアシス宇佐」
 宇佐市役所 健康推進課 宇佐高田地域成人病検診センター

第1週	午前	昼	午後	17時以降
月曜日	実習の概要説明 (地域医療学センター)			
火曜日	オリエンテーション 電子カルテ・施設説明 受持ち患者決定	昼食	へき地診療体験	宿泊
水曜日	病院病棟実習① (医師会病院・病棟)	昼食	行政との懇談 (市役所・健康推進課)	宿泊
木曜日	診療所での外来実習 A (市内病院)	昼食	病院病棟実習②・心カテ (医師会病院・病棟)	宿泊/当直
金曜日	病院外来実習① (各種検査含む) (医師会病院・外来)	昼食	福祉実習・手術 (医師会病院・連携室)	

第2週	午前	昼	午後	17時以降
月曜日	診療所での外来実習 B (市内クリニック)	昼食	病院病棟実習③ (医師会病院・病棟)	宿泊
火曜日	病院外来実習② (各種検査含む) (医師会病院・外来)	昼食 (医局会 議)	病院病棟実習④ (医師会病院・病棟)	宿泊
水曜日	介護保険施設体験 (オアシス宇佐)	昼食	訪問看護・通所リハ実習 (オアシス宇佐)	宿泊
木曜日	検診センター実習 (成人病検診センター)	昼食	病院病棟実習②・心カテ (医師会病院・病棟)	
金曜日	発表会準備 (地域医療学センター)	昼食	発表会 (地域医療学センター)	

JCHO湯布院病院

病 院 長：根橋 良雄

実 習 責 任 者：根橋 良雄 (院長)

実 習 担 当 者：井上 龍誠 (副院長)、針 秀太 (整形外科部長)

実習協力施設：足立クリニック 介護保険サービスセンター 虹 老人保健施設 風香
 由布市社会福祉協議会 特別養護老人ホーム 温水園
 中部保健所由布支部

第1週	午前	昼	午後	17時以降
月曜日	実習の概要説明 (地域医療学センター)			
火曜日	オリエンテーション 病院案内、病棟業務説明 (湯布院病院)	院長と昼食	病棟業務 【担当患者指定】 (湯布院病院)	院内宿泊
水曜日	外来、整形外科処置 (湯布院病院)	昼食	口腔ケア、往診歯科診療 (湯布院病院)	救急外来 院内宿泊
木曜日	地域包括センター (由布市社会協議会)	昼食	病棟看護 (湯布院病院)	院内宿泊
金曜日	訪問看護 (湯布院病院)	昼食	手術見学 (湯布院病院)	

第2週	午前	昼	午後	17時以降
月曜日	通所リハビリ、病院リハビリ (湯布院病院)	昼食	訪問リハビリ (湯布院病院)	院内宿泊
火曜日	介護施設実習 (「温水園」・「虹」)	昼食	介護施設実習 (老健「風香」)	救急外来 院内宿泊
水曜日	訪問診療 (湯布院病院)	昼食	保健所実習 (中部保健所由布支部)	院内宿泊
木曜日	診療所実習 (足立クリニック)	院長と昼食	退院前訪問指導 (湯布院病院)	
金曜日	発表会準備 (地域医療学センター)	昼食	発表会 (地域医療学センター)	

オリエンテーション



初日（オリエンテーション）日程

9月10日（月）	管理棟3F	中会議室
9月25日（火）	研究棟1F	会議室
10月 9日（火）	研究棟1F	会議室
10月22日（月）	管理棟3F	中会議室
11月 5日（月）	管理棟3F	中会議室

時 間	内 容	担 当
8:50~9:00	出席確認・資料配布	
9:00~9:20	「いざ行かん！地域の現場へ」	宮崎 (10/9 石井)
9:20~9:45	「実習の心得」	上田
9:45~9:50	休憩	
9:50~10:20	「地域を支える病院業務のいろは」	白石
10:20~10:45	課題学習について 「地域医療における必修の知識」 (介護保険制度・主治医意見書)	増田
10:45~11:10	実習オリエンテーション	阿部 (9/25,10/9 山本)



ワークショップ
集合写真



ワークショップ (KJ法)

—— テーマ ——

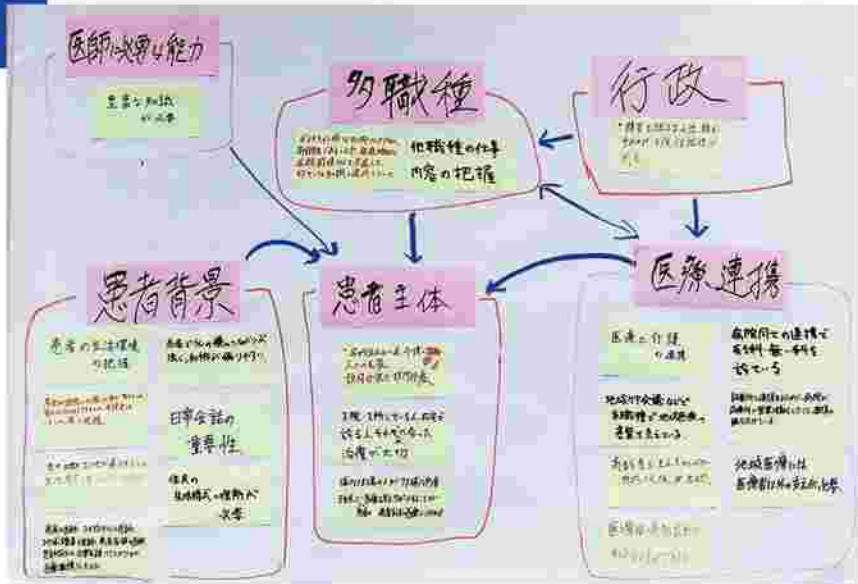
地域医療実習で学んだこと

第1クール

実習期間：9月10～21日



A



B

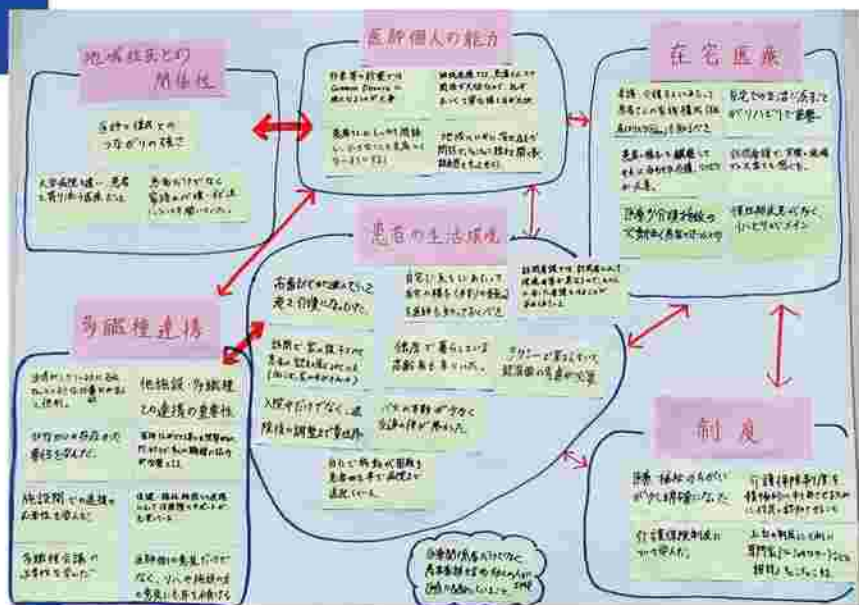


第2クール

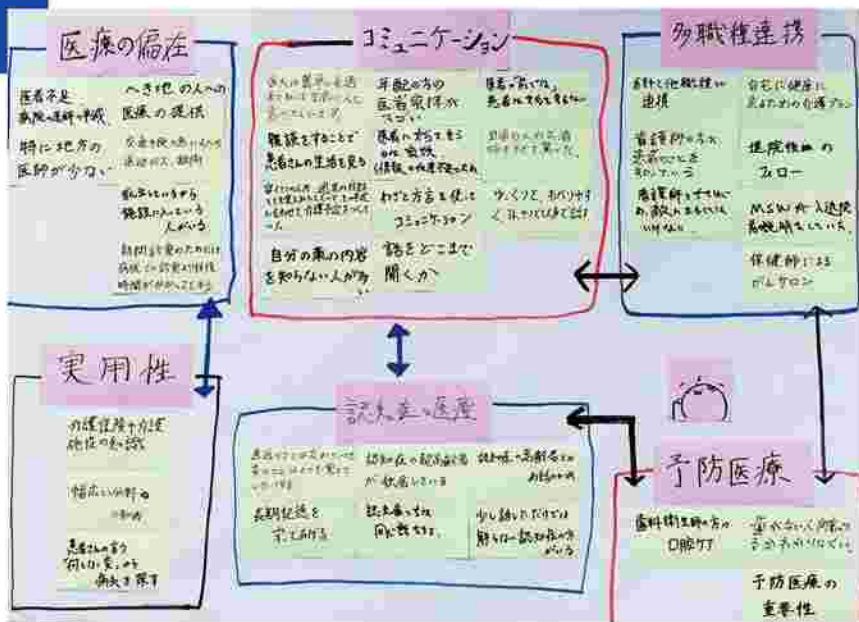
実習期間：9月25～10月5日



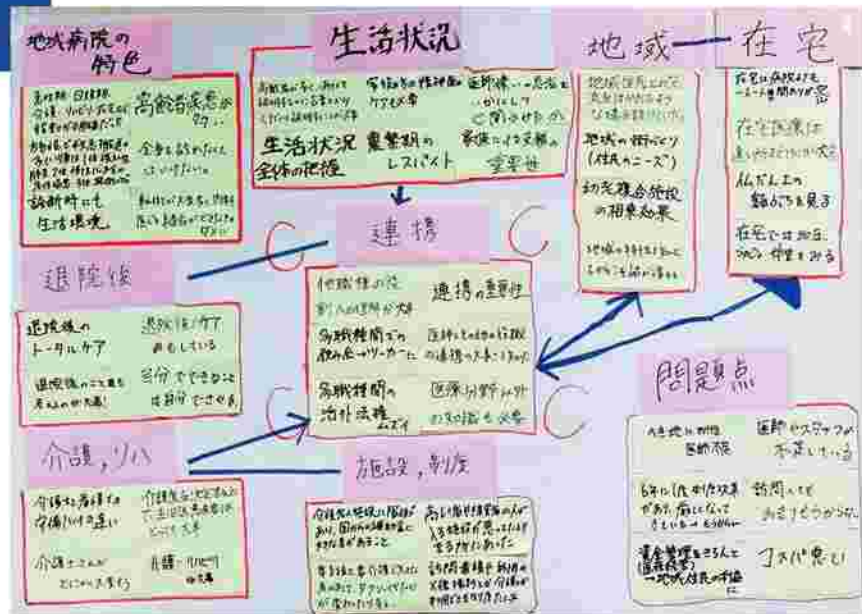
A



B



C



〈A班〉

伊藤 優助
倉本 拓哉
薩山 徹
上尾 豪志
甲斐 侑穂
藤本 耕司
山村 悠介

〈B班〉

岩田 大
黒木 大地
小真 優花
佐藤 聖香
鐘江 愛
河野 万希子
横山 多可志

〈C班〉

江藤 璃生
高山 真緒
小嶋 崇嗣
竹原 唯梨
内村 栄作
古賀 艶可

第3クール

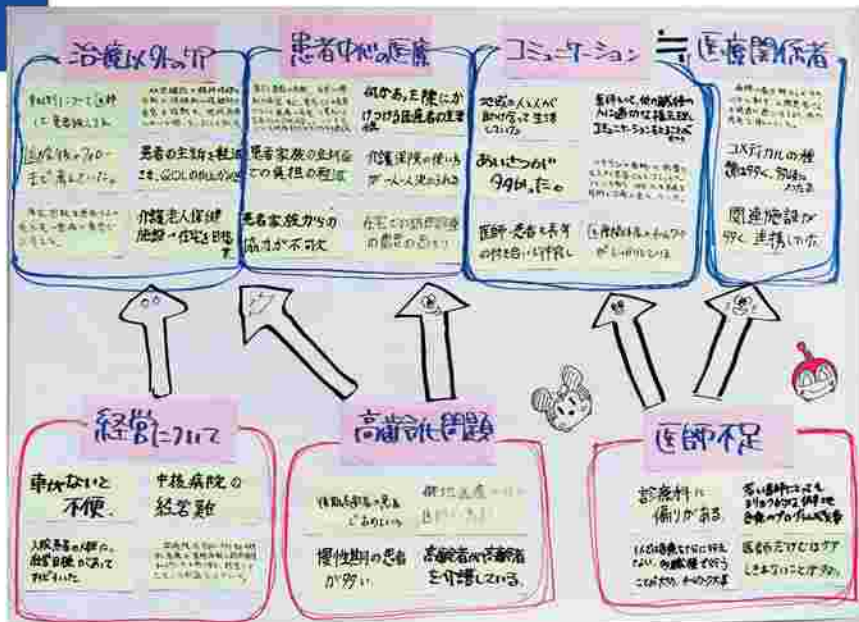
実習期間：10月9～19日



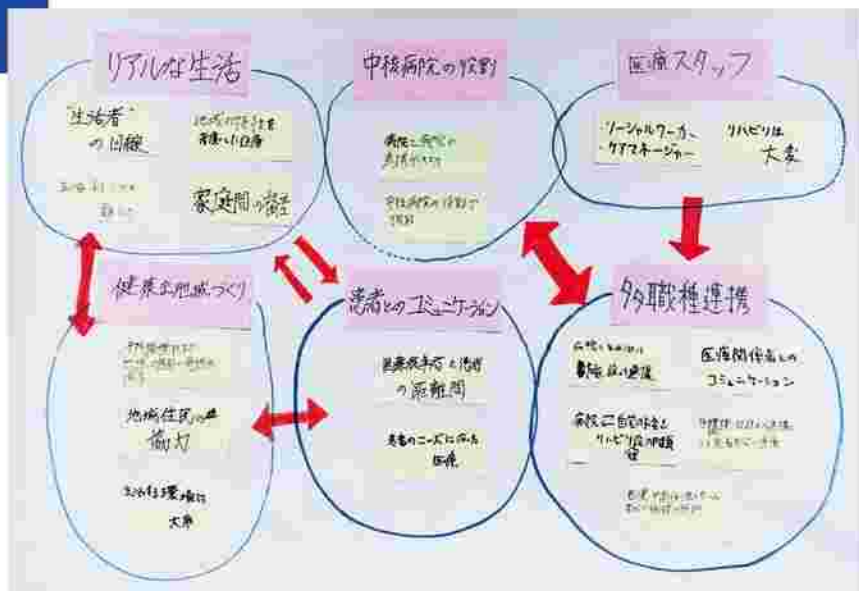
A



B



C

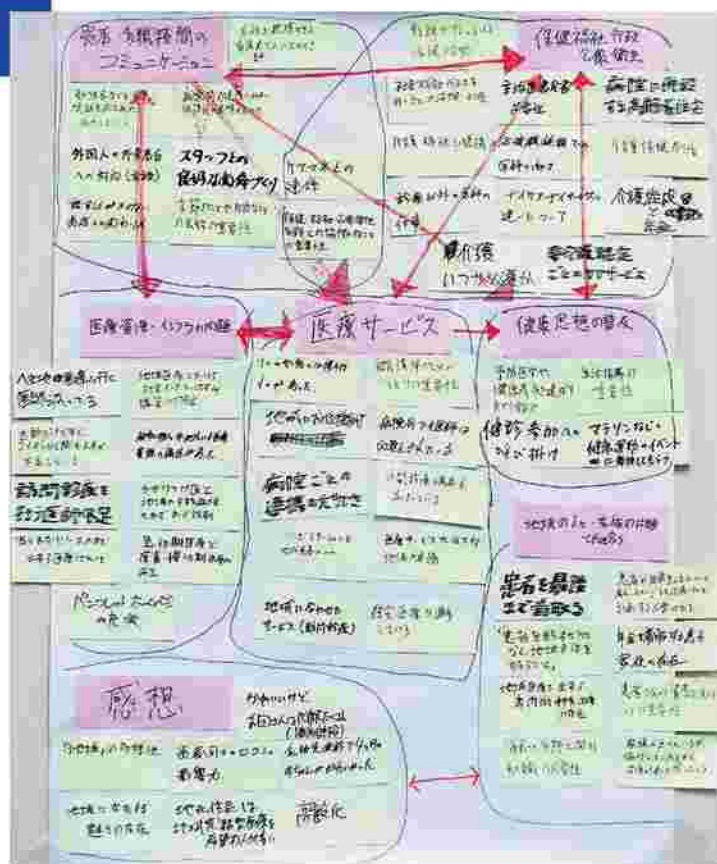


第4クール

実習期間：10月22～11月2日



D



〈A班〉

高尾 薫平
立園 祥平
中島 優志
朴 智薫
田中 亮太
禰田 拓朗

〈B班〉

峯 陽子
宮越 真由
高井 風馬
板東 翔
葉林 宏次
佐々木 良

〈C班〉

村田 史織
井上 ゆき奈
土佐 明誠
西川 匠
平賀 大輝
松尾 豊吾

〈D班〉

川崎 弘貴
橋本 馨
田中 佑太
札幌 智博
中原 隼一郎
小西 航太

第5クール

実習期間：11月5～16日



B



(A班)
三毛門 和彦
宮村 侃
三浦 一晋
船木 康介
米野 友啓
池本 知子
堀之内 泰雄

(B班)
山本 悠矢
松村 卓越
淀 伶越
宮森 和詞
藍澤 草吾
宮崎 豊
山田 健

(C班)
夢田 昌和
小嵐 優
藤本 脩平
森 靖子
小泉 皓子
久保 篤史

C



地域医療実習
フィードバック





学生への全体的な評価（コミュニケーション・生活面・学習態度など）
学生の態度、カリキュラムやスケジュールについての不都合、学生との
コミュニケーションなど

- ほとんどの学生が真面目に取り組んでいた
- 学生は積極的だった
- 地元出身の学生が多数来てくれて驚いた。将来の勤務先の選択肢になるよう期待する
- 非常にまじめで問題なかった。熱心、意欲的で非常によかった
- 挨拶、コミュニケーションも問題なくできていた
- 住民とのコミュニケーションも良好。
- 地域包括ケアの理解はたかまっている。
- 職員のモチベーション向上にもつながっており、来年も継続して実習を希望。
- いい子ばかり、やる気のある子たちだった。
- 居眠りなどはなかった。
- 学生全員大変熱心積極的に好印象であった。
- 自分の意見を述べられるというのは大切なこと
- 知識もあり問題なかった。真剣に取り組んでいた
- 実習先の病院がどのような病院なのかを理解してほしい。
- 地域での連携を見てほしい。
- 保健所実習で、居眠りなど不適切な態度があったと報告あり。
- 挨拶や集合時間など、社会人としての規範を徹底してほしい。
- 学生にあまり意欲がない。救急当直の日に患者が来なかったので別の日に誘ったが断わられた
- メールでの連絡は取りやすかったが、添付した資料を印刷してきていなかったり、返信がなかったりということがあった。
- 実習の目的を答えられない学生がいたので、答えられるように事前に学習してきてほしい
- 態度が前向きでない学生がいた。実際に日々の振り返りも淡泊で、実習への意欲なし。
- 実習中、自分の身内の電子カルテを無断で見ていた学生がいたので注意した。
- 病欠となった学生がいた。実習がハードだったのではないかと心配。



実習日程・内容について（参加型実習への意見・診療にどの程度参加できていたか、どのように参加させる工夫をしたか）

- ・ 医行為については実習前に説明しないといけない
- ・ 以前は採血をさせたりしていたが、今はさせていない。
- ・ 診療にどの程度参加させるのが、どこまで医行為をさせていいのか。
- ・ 内科では参加型になっていたか、若干疑問が残った
- ・ 外科では手術後の患者を診察している様子はなかった。
- ・ 患者の所に行けていなかった。5時以降に行くことがなかった。
- ・ 毎日、患者の所に行っていないことが散見された。
- ・ 外回りが多いため、患者の所に行き診察をしていないことが多かった。
- ・ 電子カルテばかり見ている時間が多かった。
- ・ タイミングの問題として当直中に救急患者が来ないことが多かった。
- ・ 一緒に行き診察をみてあげないといけないと思っている。
- ・ 新患を担当させてみてよかったかと思う。
- ・ 外来では診察もさせている。
- ・ 当直を一度だけがしてもらった
- ・ 30代から40代頃に地域で働くことの違いなどを話した。
- ・ 関東など都市部と地域との違いを話した。
- ・ 隣接する老健施設において、カラオケ教室に参加してもらい感謝している。
- ・ 在宅診療は難病患者さんの所へ行ってもらった。貴重な体験だったと感想があった。
- ・ 診療所実習先は教育熱心な先生で、多くの学生が感銘を受けている。
- ・ 離島実習も天候に恵まれ、無事に経験してもらうことができた。道中、話をしたが魅力ある学生さんが多かった。
- ・ 病棟実習は多職種を知ってもらうためあえて看護師についてもらった。多職種連携が理解できたと好評だった。
- ・ 夜間当直時に「置き去り」にして検査診断をさせた。
- ・ 小児領域の発達検査なども積極的にさせた。
- ・ 地域住民との関わりの部分が、医師会立の特性上難しい部分もある。
- ・ 在宅、外来、住民との接触について比較的低評価（不満足）。健康教室などをやらせることは可能。
- ・ 保険所が不人気。保健所へ同行して何を教えているのを見てみたいと考えている。
- ・ リハビリに介入してもらった（おむつ交換、トランプなどの参加）。笑顔あり。
- ・ 在宅でのレントゲン機器の組み立て等をおこなってもらった。
- ・ QOL、ADLの向上を目指していることも理解してもらえたと思う。
- ・ 学生のニーズを探りながらすすめたが、最後までニーズを測りかねた部分があった。

- ・ 救急当直実習は、宿泊できる部屋がなく最初の学生には行えなかった。不平等が生じるとよくないので、以降の学生も救急当直実習は中止とした。
- ・ 救急診療を経験できた学生とそうでない学生にばらつきがあった。
- ・ 救急搬送は多いので、当直回数を増やせば患者を当てられるのでは。
- ・ 医師会の先生方の負担を軽減するため外病院ばかりの実習にしているが、地域中核病院で働く先生方の実情がみえてこない。
- ・ 保健所での座学をやめ、避難所運営訓練やホームヘルパー養成研修に参加するなど、アクティブラーニングを増やした。
- ・ ケアカンファ、認定審査会（参加させている）、産業医見学なども今後していきたい。
- ・ 手術も見せられるようにしたい。
- ・ 臨床経験がどの程度あるのか、どの程度手技ができるのかがわからない状況のなかで、どれくらいさせればよいのかが分からない。
- ・ 手術の手洗い、外来での局所注射、抜糸などをやってもらった。
- ・ 外科に興味がある学生は外科を見学させてみよう。
- ・ 入院患者のところに行けていない学生がいた（病院からは行くように声掛けしていた）。
- ・ 患者とのコミュニケーション不足があったかもしれない。
- ・ 検査、リハビリ、往診（貧沢）、老健などで実習をおこなった。
- ・ 施設の特徴を学んでもらえたのでは。
- ・ 実習開始前に理事長からの講話の時間を設けた。施設について知ってもらうための説明などをおこなった。来年も実施したいと思う。
- ・ 今後は看取りなどを体験させることも必要と考えている。
- ・ 緩和ケアのディスカッションに入ることも考慮する。
- ・ 外来と一緒に診た後、質問などを行い知識の確認をした。
- ・ 病棟では患者を受け持ってもらった。その後プレゼンの場を設ければよかったか。
- ・ 訪問リハビリは、興味がないのか見ているだけの学生がいた。
- ・ 手術、一般病棟は見学。入浴介助の際、声かけもまま不在となる学生がいた。
- ・ 訪問歯科では医科歯科連携について理解を示した。入れ歯作成見学。
- ・ 主治医意見書作成について、外科系はどうしたらよいか？ 対象患者がいない時はどうしたらよいか？（模擬患者の情報で書かせている）
- ・ 内科は退院前の自宅訪問などで主治医意見書を作成できる。
- ・ 乳幼児健康診断、手術などのからみがあるので、地域のサロンの方が良いかもしれない。
- ・ 「日々の振り返り」記入欄が2行では少なかった。学生も十分に振り返りができていない。



来年に向けての意見・改善点など

- ・ 2週間前のアンケート（メールのやりとり）が単なる挨拶になっている。
→ 質問シートなどのフォーマットを作り、それをもとにやり取りを行ってもらおう。
- ・ QQ がきていても連絡ができていないので改善したい。
- ・ 昨年度までは個々からメールでの連絡があったが、今年度は2人1組のうち1名が代表しての連絡であった（OCもなかった）ので、連絡が行き届いているか不安
→ 次年度から、1名ずつの連絡を徹底させる。
- ・ 施設のマンパワーが不足気味のため、学生への対応が難しい時がある。
- ・ スケジュール調整に改善の余地あり。
- ・ 協力施設との兼ね合いがあり、時間調整が難しかった
- ・ カリキュラムについて、祝日の影響で内容が違ったためグループごとの平等性が保たれていなかったかもしれない
- ・ 学生満足度が測れない。こんな実習でよいのかわからない。
→ 細目化したアンケートを取り、施設へのフィードバックを充実させる。
- ・ 学生が何を学びたいが事前に分かれば、その部分を重点的に教えていきたい。実習についての希望や、担当したい診療科などを来年度は聞いてみたい。
→ 実習決定時に、詳細な施設の情報（特色・診療科の紹介・実習内容など）を学生へ提供し、より各々の希望にマッチした実習先を選択できるようにする。
- ・ 実習先を決定する際の方法はどうなっているのか？ 希望制 or くじ？（くじであてがわれたと発言した学生あり）
- ・ 自宅から通いたいとの申し出がある場合、宿はどうすればよいのか？ また「家が近くだから」と宿泊を拒否する学生がいたが・・・
→ 妥当な理由がない限り、2週間の泊まり込み実習としている。
どうすればよい評価が得られるか。他施設との情報を共有したい。他施設の内容をフィードバックしてほしい。ほかの病院での面白い取り組みがあったら教えてほしい。
→ 各施設が集まり意見交換会を実施する。
- ・ 実習先へ、必要な提出書類（主治医意見書など）の周知を徹底してほしい
→ リスト化し周知、先生方の指導をおおく。
- ・ 臨床実習同意書を作る方向で考えている→ 大学では、診療参加型臨床実習に対して同意書を作成している。大学が一律で作成して実習病院へお願いするのか、病院ごとに作成するのか検討。
- ・ 学生の麻疹、風疹、ムンプス、水痘、HB、HC 情報を取得したい。学生に聞いても自分の抗体情報を知らないことが多い。大学に問い合わせることは可能か。

■ 発 行 ■

平成31年3月

■ 発行責任者 ■

大分大学医学部 地域医療学センター

内科分野 宮崎 英士

外科分野 白石 憲男

事務担当

福田 裕美 佐藤 智子

中島多喜子 安東 徳子

住 所 由布市挾間町医大ヶ丘1-1

電 話 097-586-6306

F A X 097-586-6307
